



API リファレンス

Amazon MemoryDB



API バージョン 2021-01-01

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon MemoryDB: API リファレンス

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していない他のすべての商標は、それぞれの所有者の所有物であり、Amazon と提携、接続、または後援されている場合とされていない場合があります。

Table of Contents

ようこそ	1
アクション	2
BatchUpdateCluster	4
リクエストの構文	4
リクエストパラメータ	4
レスポンスの構文	4
レスポンス要素	6
エラー	7
その他の参照資料	7
CopySnapshot	9
リクエストの構文	9
リクエストパラメータ	9
レスポンスの構文	10
レスポンス要素	11
エラー	12
その他の参照資料	12
CreateACL	14
リクエストの構文	14
リクエストパラメータ	14
レスポンスの構文	15
レスポンス要素	15
エラー	16
その他の参照資料	16
CreateCluster	18
リクエストの構文	18
リクエストパラメータ	18
レスポンスの構文	23
レスポンス要素	25
エラー	25
以下の資料も参照してください。	27
CreateParameterGroup	28
リクエストの構文	28
リクエストパラメータ	28
レスポンスの構文	29

レスポンス要素	29
エラー	30
その他の参照資料	30
CreateSnapshot	32
リクエストの構文	32
リクエストパラメータ	32
レスポンスの構文	33
レスポンス要素	34
エラー	34
その他の参照資料	35
CreateSubnetGroup	36
リクエストの構文	36
リクエストパラメータ	36
レスポンスの構文	37
レスポンス要素	37
エラー	38
その他の参照資料	39
CreateUser	40
リクエストの構文	40
リクエストパラメータ	40
レスポンスの構文	41
レスポンス要素	42
エラー	42
その他の参照資料	43
DeleteACL	44
リクエストの構文	44
リクエストパラメータ	44
レスポンスの構文	44
レスポンス要素	45
エラー	45
その他の参照資料	45
DeleteCluster	47
リクエストの構文	47
リクエストパラメータ	47
レスポンスの構文	48
レスポンス要素	49

エラー	50
以下の資料も参照してください。	50
DeleteParameterGroup	52
リクエストの構文	52
リクエストパラメータ	52
レスポンスの構文	52
レスポンス要素	53
エラー	53
その他の参照資料	53
DeleteSnapshot	55
リクエストの構文	55
リクエストパラメータ	55
レスポンスの構文	55
レスポンス要素	56
エラー	56
その他の参照資料	57
DeleteSubnetGroup	58
リクエストの構文	58
リクエストパラメータ	58
レスポンスの構文	58
レスポンス要素	59
エラー	59
その他の参照資料	59
DeleteUser	61
リクエストの構文	61
リクエストパラメータ	61
レスポンスの構文	61
レスポンス要素	62
エラー	62
その他の参照資料	62
DescribeACLs	64
リクエストの構文	64
リクエストパラメータ	64
レスポンスの構文	65
レスポンス要素	65
エラー	66

その他の参照資料	66
DescribeClusters	67
リクエストの構文	67
リクエストパラメータ	67
レスポンスの構文	68
レスポンス要素	70
エラー	70
その他の参照資料	71
DescribeEngineVersions	72
リクエストの構文	72
リクエストパラメータ	72
レスポンスの構文	73
レスポンス要素	73
エラー	74
以下の資料も参照してください。	74
DescribeEvents	76
リクエストの構文	76
リクエストパラメータ	76
レスポンスの構文	78
レスポンス要素	78
エラー	78
その他の参照資料	79
DescribeParameterGroups	80
リクエストの構文	80
リクエストパラメータ	80
レスポンスの構文	81
レスポンス要素	81
エラー	82
その他の参照資料	82
DescribeParameters	83
リクエストの構文	83
リクエストパラメータ	83
レスポンスの構文	84
レスポンス要素	84
エラー	85
その他の参照資料	85

DescribeReservedNodes	86
リクエストの構文	86
リクエストパラメータ	86
レスポンスの構文	88
レスポンス要素	88
エラー	89
その他の参照資料	89
DescribeReservedNodesOfferings	91
リクエストの構文	91
リクエストパラメータ	91
レスポンスの構文	92
レスポンス要素	93
エラー	93
その他の参照資料	94
DescribeServiceUpdates	95
リクエストの構文	95
リクエストパラメータ	95
レスポンスの構文	96
レスポンス要素	97
エラー	97
その他の参照資料	97
DescribeSnapshots	99
リクエストの構文	99
リクエストパラメータ	99
レスポンスの構文	100
レスポンス要素	101
エラー	102
その他の参照資料	102
DescribeSubnetGroups	104
リクエストの構文	104
リクエストパラメータ	104
レスポンスの構文	105
レスポンス要素	105
エラー	106
その他の参照資料	106
DescribeUsers	107

リクエストの構文	107
リクエストパラメータ	107
レスポンスの構文	108
レスポンス要素	109
エラー	109
その他の参照資料	109
FailoverShard	111
リクエストの構文	111
リクエストパラメータ	111
レスポンスの構文	111
レスポンス要素	113
エラー	113
その他の参照資料	114
ListAllowedNodeTypeUpdates	116
リクエストの構文	116
リクエストパラメータ	116
レスポンスの構文	116
レスポンス要素	116
エラー	117
その他の参照資料	117
ListTags	119
リクエストの構文	119
リクエストパラメータ	119
レスポンスの構文	119
レスポンス要素	120
エラー	120
その他の参照資料	121
PurchaseReservedNodesOffering	122
リクエストの構文	122
リクエストパラメータ	122
レスポンスの構文	123
レスポンス要素	124
エラー	124
その他の参照資料	125
ResetParameterGroup	126
リクエストの構文	126

リクエストパラメータ	126
レスポンスの構文	127
レスポンス要素	127
エラー	127
その他の参照資料	128
TagResource	129
リクエストの構文	129
リクエストパラメータ	129
レスポンスの構文	130
レスポンス要素	130
エラー	130
その他の参照資料	131
UntagResource	133
リクエストの構文	133
リクエストパラメータ	133
レスポンスの構文	133
レスポンス要素	134
エラー	134
その他の参照資料	135
UpdateACL	136
リクエストの構文	136
リクエストパラメータ	136
レスポンスの構文	137
レスポンス要素	137
エラー	137
その他の参照資料	138
UpdateCluster	140
リクエストの構文	140
リクエストパラメータ	140
レスポンスの構文	143
レスポンス要素	145
エラー	145
その他の参照資料	147
UpdateParameterGroup	148
リクエストの構文	148
リクエストパラメータ	148

レスポンスの構文	149
レスポンス要素	149
エラー	149
その他の参照資料	150
UpdateSubnetGroup	151
リクエストの構文	151
リクエストパラメータ	151
レスポンスの構文	152
レスポンス要素	152
エラー	152
その他の参照資料	153
UpdateUser	154
リクエストの構文	154
リクエストパラメータ	154
レスポンスの構文	155
レスポンス要素	155
エラー	155
その他の参照資料	156
データ型	157
ACL	159
内容	159
その他の参照資料	160
ACLPendingChanges	161
内容	161
その他の参照資料	161
ACLsUpdateStatus	162
内容	162
その他の参照資料	162
Authentication	163
内容	163
その他の参照資料	163
AuthenticationMode	164
内容	164
その他の参照資料	164
AvailabilityZone	165
内容	165

その他の参照資料	165
Cluster	166
内容	166
以下の資料も参照してください。	170
ClusterConfiguration	172
内容	172
以下の資料も参照してください。	174
ClusterPendingUpdates	175
内容	175
その他の参照資料	175
Endpoint	176
内容	176
その他の参照資料	176
EngineVersionInfo	177
内容	177
以下の資料も参照してください。	177
Event	178
内容	178
その他の参照資料	179
Filter	180
内容	180
以下の資料も参照してください。	180
Node	181
内容	181
その他の参照資料	182
Parameter	183
内容	183
その他の参照資料	184
ParameterGroup	185
内容	185
その他の参照資料	185
ParameterNameValue	187
内容	187
その他の参照資料	187
PendingModifiedServiceUpdate	188
内容	188

その他の参照資料	188
RecurringCharge	189
内容	189
その他の参照資料	189
ReplicaConfigurationRequest	190
内容	190
その他の参照資料	190
ReservedNode	191
内容	191
その他の参照資料	193
ReservedNodesOffering	194
内容	194
その他の参照資料	195
ReshardingStatus	196
内容	196
その他の参照資料	196
SecurityGroupMembership	197
内容	197
その他の参照資料	197
ServiceUpdate	198
内容	198
その他の参照資料	199
ServiceUpdateRequest	200
内容	200
その他の参照資料	200
Shard	201
内容	201
その他の参照資料	202
ShardConfiguration	203
内容	203
その他の参照資料	203
ShardConfigurationRequest	204
内容	204
その他の参照資料	204
ShardDetail	205
内容	205

その他の参照資料	205
SlotMigration	207
内容	207
その他の参照資料	207
Snapshot	208
内容	208
その他の参照資料	209
Subnet	210
内容	210
その他の参照資料	210
SubnetGroup	211
内容	211
その他の参照資料	212
Tag	213
内容	213
その他の参照資料	213
UnprocessedCluster	214
内容	214
その他の参照資料	214
User	215
内容	215
その他の参照資料	216
共通パラメータ	217
共通エラー	220
.....	ccxxii

ようこそ

MemoryDB は、フルマネージド Redis OSS互換のインメモリデータベースで、マイクロサービスアーキテクチャを使用して構築された最新のアプリケーションに超高速のパフォーマンスとマルチAZ 耐久性を提供します。MemoryDB はデータベース全体をメモリ内に保存するため、低レイテンシーで高スループットのデータアクセスが可能になります。一般的なオープンソースデータストア OSSである Redis と互換性があり、Redis OSSの柔軟でわかりやすいデータ構造、APIsコマンドを活用できます。

このドキュメントは、2024 年 8 月 23 日に最後に公開されました。

アクション

以下のアクションがサポートされています:

- [BatchUpdateCluster](#)
- [CopySnapshot](#)
- [CreateACL](#)
- [CreateCluster](#)
- [CreateParameterGroup](#)
- [CreateSnapshot](#)
- [CreateSubnetGroup](#)
- [CreateUser](#)
- [DeleteACL](#)
- [DeleteCluster](#)
- [DeleteParameterGroup](#)
- [DeleteSnapshot](#)
- [DeleteSubnetGroup](#)
- [DeleteUser](#)
- [DescribeACLs](#)
- [DescribeClusters](#)
- [DescribeEngineVersions](#)
- [DescribeEvents](#)
- [DescribeParameterGroups](#)
- [DescribeParameters](#)
- [DescribeReservedNodes](#)
- [DescribeReservedNodesOfferings](#)
- [DescribeServiceUpdates](#)
- [DescribeSnapshots](#)
- [DescribeSubnetGroups](#)
- [DescribeUsers](#)
- [FailoverShard](#)

- [ListAllowedNodeTypeUpdates](#)
- [ListTags](#)
- [PurchaseReservedNodesOffering](#)
- [ResetParameterGroup](#)
- [TagResource](#)
- [UntagResource](#)
- [UpdateACL](#)
- [UpdateCluster](#)
- [UpdateParameterGroup](#)
- [UpdateSubnetGroup](#)
- [UpdateUser](#)

BatchUpdateCluster

提供されたクラスターのリストにサービスの更新を適用します。サービスアップデートとその適用の詳細については、「[Applying the service updates](#)」を参照してください。

リクエストの構文

```
{
  "ClusterNames": [ "string" ],
  "ServiceUpdate": {
    "ServiceUpdateNameToApply": "string"
  }
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

ClusterNames

更新を適用するクラスター名。

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最大数は 20 項目です。

必須: はい

ServiceUpdate

サービス更新の一意的 ID

タイプ: [ServiceUpdateRequest](#) オブジェクト

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
```



```
{
  {
    "Name": "string",
    "Nodes": [
      {
        "AvailabilityZone": "string",
        "CreateTime": number,
        "Endpoint": {
          "Address": "string",
          "Port": number
        },
        "Name": "string",
        "Status": "string"
      }
    ],
    "NumberOfNodes": number,
    "Slots": "string",
    "Status": "string"
  }
],
"SnapshotRetentionLimit": number,
"SnapshotWindow": "string",
"SnsTopicArn": "string",
"SnsTopicStatus": "string",
"Status": "string",
"SubnetGroupName": "string",
"TLSEnabled": boolean
}
],
"UnprocessedClusters": [
  {
    "ClusterName": "string",
    "ErrorMessage": "string",
    "ErrorType": "string"
  }
]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[ProcessedClusters](#)

更新されたクラスタのリスト。

型: [Cluster](#) オブジェクトの配列

[UnprocessedClusters](#)

更新が適用されていないクラスタのリスト。

型: [UnprocessedCluster](#) オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ServiceUpdateNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CopySnapshot

既存のスナップショットのコピーを作成します。

リクエストの構文

```
{
  "KmsKeyId": "string",
  "SourceSnapshotName": "string",
  "Tags": [
    {
      "Key": "string",
      "Value": "string"
    }
  ],
  "TargetBucket": "string",
  "TargetSnapshotName": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[KmsKeyId](#)

ターゲットスナップショットを暗号化するための KMS キーの ID。

型: 文字列

長さの制限: 最大長は 2048 です。

必須: いいえ

[SourceSnapshotName](#)

コピーを作成する元の既存のスナップショット名

型: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: [Tag](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

TargetBucket

スナップショットのエクスポート先の Amazon S3 バケット。このパラメータは、外部アクセス用にスナップショットをエクスポートする場合にのみ使用されます。このパラメータを使用してスナップショットをエクスポートするときは、MemoryDB にこの S3 バケットに必要なアクセス許可があることを確認してください。詳細については、「[Step 2: Grant MemoryDB Access to Your Amazon S3 Bucket](#)」を参照してください。

型: 文字列

長さの制限: 最大長は 255 です。

Pattern: `^[A-Za-z0-9._-]+$`

必須: いいえ

TargetSnapshotName

スナップショットコピーの名前。MemoryDB ではスナップショットの上書きは許可されていないため、この名前はコンテキスト (エクスポートする場合は MemoryDB または Amazon S3 バケット) 内で一意である必要があります。

型: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
  "Snapshot": {
    "ARN": "string",
    "ClusterConfiguration": {
```

```
"Description": "string",
"EngineVersion": "string",
"MaintenanceWindow": "string",
"Name": "string",
"NodeType": "string",
"NumShards": number,
"ParameterGroupName": "string",
"Port": number,
"Shards": [
  {
    "Configuration": {
      "ReplicaCount": number,
      "Slots": "string"
    },
    "Name": "string",
    "Size": "string",
    "SnapshotCreationTime": number
  }
],
"SnapshotRetentionLimit": number,
"SnapshotWindow": "string",
"SubnetGroupName": "string",
"TopicArn": "string",
"VpcId": "string"
},
"DataTiering": "string",
"KmsKeyId": "string",
"Name": "string",
"Source": "string",
>Status": "string"
}
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[Snapshot](#)

スナップショットが作成された時点のクラスター全体のコピーを表します。

型: [Snapshot](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidSnapshotStateFault

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SnapshotAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード : 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SnapshotQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、[以下を参照してください](#)。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CreateACL

アクセスコントロールリストを作成します。詳細については、[アクセスコントロールリスト \(ACL\) によるユーザーの認証](#)を参照してください。

リクエストの構文

```
{
  "ACLName": "string",
  "Tags": [
    {
      "Key": "string",
      "Value": "string"
    }
  ],
  "UserNames": [ "string" ]
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

ACLName

アクセスコントロールリストの名前。

型: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: [Tag](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

UserNames

アクセスコントロールリストに属するユーザのリスト。

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-\-]*

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "ACL": {
    "ARN": "string",
    "Clusters": [ "string" ],
    "MinimumEngineVersion": "string",
    "Name": "string",
    "PendingChanges": {
      "UserNamesToAdd": [ "string" ],
      "UserNamesToRemove": [ "string" ]
    },
    "Status": "string",
    "UserNames": [ "string" ]
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ACL

新しく作成されたアクセスコントロールリスト。

型: [ACL](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ACLAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード : 400

ACLQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

DefaultUserRequired

HTTP ステータスコード : 400

DuplicateUserNameFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード : 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、[以下を参照してください](#)。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)

- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CreateCluster

クラスターを作成します。クラスターのすべてのノードで、同じプロトコルに準拠するエンジンソフトウェアが実行されます。

リクエストの構文

```
{
  "ACLName": "string",
  "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
  "ClusterName": "string",
  "DataTiering": boolean,
  "Description": "string",
  "EngineVersion": "string",
  "KmsKeyId": "string",
  "MaintenanceWindow": "string",
  "NodeType": "string",
  "NumReplicasPerShard": number,
  "NumShards": number,
  "ParameterGroupName": "string",
  "Port": number,
  "SecurityGroupIds": [ "string" ],
  "SnapshotArns": [ "string" ],
  "SnapshotName": "string",
  "SnapshotRetentionLimit": number,
  "SnapshotWindow": "string",
  "SnsTopicArn": "string",
  "SubnetGroupName": "string",
  "Tags": [
    {
      "Key": "string",
      "Value": "string"
    }
  ],
  "TLSEnabled": boolean
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、JSON形式の次のデータを受け入れます。

ACLName

クラスターに関連付けられているアクセスコントロールリストの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。

パターン: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-\-]*`

必須: はい

AutoMinorVersionUpgrade

true に設定すると、クラスターは、起動後にマイナーエンジンバージョンのアップグレードを自動的に受信します。

型: ブール値

必須: いいえ

ClusterName

クラスターの名前。この値は、クラスター識別子としても機能するため、一意である必要があります。

型: 文字列

必須: はい

DataTiering

データの階層化を有効にします。データ階層化は、r6gd ノードタイプを使用するクラスターでのみサポートされます。r6gd ノードを使用する場合は、このパラメータを設定する必要があります。詳細については、[データ階層化](#)を参照してください。

型: ブール値

必須: いいえ

Description

クラスターの説明 (任意)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

クラスターに使用する Redis OSS エンジンのバージョン番号。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

KmsKeyId

クラスターの暗号化に使用されるKMSキーの ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaintenanceWindow

クラスターの週次メンテナンスを実行する時間範囲を指定します。これは、ddd:hh24:mi-ddd:hh24:mi (24H クロック UTC) の形式で範囲として指定されます。最短メンテナンス期間は 60 分です。

ddd の有効値は、次のとおりです。

- sun
- mon
- tue
- wed
- thu
- fri
- sat

例: sun:23:00-mon:01:30

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

クラスター内のノードのコンピューティング能力とメモリ容量。

型: 文字列

必須: はい

NumReplicasPerShard

各シャードに適用するレプリカの数。デフォルト値は 1 です。最大数は 5 です。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NumShards

クラスターに含まれるシャードの数。デフォルト値は 1 です。

タイプ: 整数

必須: いいえ

ParameterGroupName

このクラスターに関連付けられたパラメータグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Port

各ノードが接続を受け付けるポート番号。

タイプ: 整数

必須: いいえ

SecurityGroupIds

このクラスターに関連付けるセキュリティグループ名のリスト。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

SnapshotArns

Amazon S3 に保存されているRDBスナップショットファイルを一意に識別する Amazon リソースネーム (ARN) のリスト。Amazon S3 スナップショットファイルは、新しいクラスターを作成するために使用されます。の Amazon S3 オブジェクト名にカンマを含めるARNことはできません。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

SnapshotName

新しいクラスターにデータを復元するスナップショットの名前。新しいクラスターの作成中は、スナップショットのステータスがリストア中に変わります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnapshotRetentionLimit

MemoryDB によって自動スナップショットが保持される日数。この日数を超えると、自動スナップショットは削除されます。例えば、SnapshotRetentionLimit を 5 に設定すると、今日作成されたスナップショットは 5 日間保持され、その後削除されます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

SnapshotWindow

MemoryDB UTC がシャードの毎日のスナップショットの作成を開始する毎日の時間範囲 ()。

例: 5:00 ~ 9:00

このパラメータを指定しないと、MemoryDB によって自動的に適切な時間範囲が選択されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnsTopicArn

通知が送信される Amazon Simple Notification Service (ARN) トピックの Amazon リソースネーム (SNS)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

クラスターに使用されるサブネットグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはカンマで区切られたキーと値のペアです (例: Key=myKey, Value=myKeyValue。Key=、Value=Key=myKey、Value=mySecondKeyValue myKeyValue mySecondKeyのように複数のタグを含めることができます。

型: [Tag](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

TLSEnabled

転送時の暗号化をクラスターで有効にできるフラグ。

型: ブール値

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "Cluster": {
    "ACLName": "string",
    "ARN": "string",
    "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
    "AvailabilityMode": "string",
    "ClusterEndpoint": {
      "Address": "string",
      "Port": number
    },
    "DataTiering": "string",
    "Description": "string",
    "EnginePatchVersion": "string",
    "EngineVersion": "string",
    "KmsKeyId": "string",
    "MaintenanceWindow": "string",
    "Name": "string",
    "NodeType": "string",
```

```
"NumberOfShards": number,
"ParameterGroupName": "string",
"ParameterGroupStatus": "string",
"PendingUpdates": {
  "ACLs": {
    "ACLToApply": "string"
  },
  "Resharding": {
    "SlotMigration": {
      "ProgressPercentage": number
    }
  },
  "ServiceUpdates": [
    {
      "ServiceUpdateName": "string",
      "Status": "string"
    }
  ]
},
"SecurityGroups": [
  {
    "SecurityGroupId": "string",
    "Status": "string"
  }
],
"Shards": [
  {
    "Name": "string",
    "Nodes": [
      {
        "AvailabilityZone": "string",
        "CreateTime": number,
        "Endpoint": {
          "Address": "string",
          "Port": number
        },
        "Name": "string",
        "Status": "string"
      }
    ],
    "NumberOfNodes": number,
    "Slots": "string",
    "Status": "string"
  }
]
```

```
    ],  
    "SnapshotRetentionLimit": number,  
    "SnapshotWindow": "string",  
    "SnsTopicArn": "string",  
    "SnsTopicStatus": "string",  
    "Status": "string",  
    "SubnetGroupName": "string",  
    "TLSEnabled": boolean  
  }  
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

Cluster

新しく作成されたクラスター。

型: Cluster オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「共通エラー」を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ClusterAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード: 400

ClusterQuotaForCustomerExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

InsufficientClusterCapacityFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidACLStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidCredentialsException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidVPCNetworkStateFault

HTTP ステータスコード: 400

NodeQuotaForClusterExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

NodeQuotaForCustomerExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

ShardsPerClusterQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード: 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 用](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用の](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用の](#)

CreateParameterGroup

MemoryDB パラメータグループを作成します。パラメータグループは、任意のクラスターのノード内のすべてのノードに適用されるパラメータとその値のコレクションです。詳細については、[パラメータグループを使用したエンジンパラメータの設定](#)を参照してください。

リクエストの構文

```
{
  "Description": "string",
  "Family": "string",
  "ParameterGroupName": "string",
  "Tags": [
    {
      "Key": "string",
      "Value": "string"
    }
  ]
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

Description

パラメータグループの説明 (任意)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Family

キャッシュパラメータグループを使用できるキャッシュパラメータグループファミリーの名前。

型: 文字列

必須: はい

ParameterGroupName

パラメータグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: [Tag](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "ParameterGroup": {
    "ARN": "string",
    "Description": "string",
    "Family": "string",
    "Name": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ParameterGroup

新しく作成されたパラメータグループ。

型: [ParameterGroup](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterGroupStateFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ParameterGroupAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード : 400

ParameterGroupQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CreateSnapshot

特定の時点でクラスター全体のコピーを作成します。

リクエストの構文

```
{
  "ClusterName": "string",
  "KmsKeyId": "string",
  "SnapshotName": "string",
  "Tags": [
    {
      "Key": "string",
      "Value": "string"
    }
  ]
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

ClusterName

スナップショットはこのクラスターから作成されます。

型: 文字列

必須: はい

KmsKeyId

スナップショットの暗号化に使用される KMS キーの ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnapshotName

作成されるスナップショットの名前。

型: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: [Tag](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "Snapshot": {
    "ARN": "string",
    "ClusterConfiguration": {
      "Description": "string",
      "EngineVersion": "string",
      "MaintenanceWindow": "string",
      "Name": "string",
      "NodeType": "string",
      "NumShards": number,
      "ParameterGroupName": "string",
      "Port": number,
      "Shards": [
        {
          "Configuration": {
            "ReplicaCount": number,
            "Slots": "string"
          },
          "Name": "string",
          "Size": "string",
          "SnapshotCreationTime": number
        }
      ],
      "SnapshotRetentionLimit": number,
      "SnapshotWindow": "string",
      "SubnetGroupName": "string",
```

```
    "TopicArn": "string",
    "VpcId": "string"
  },
  "DataTiering": "string",
  "KmsKeyId": "string",
  "Name": "string",
  "Source": "string",
  "Status": "string"
}
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Snapshot

新しく作成されたスナップショット。

型: [Snapshot](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400
ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400
SnapshotAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード : 400
SnapshotQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード : 400
TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CreateSubnetGroup

サブネットグループを作成します。サブネットグループは、Amazon Virtual Private Cloud (VPC) 環境で実行しているクラスターに対して指定できるサブネット (通常はプライベート) の集合です。Amazon VPC でクラスターを作成する際に、サブネットグループを指定する必要があります。MemoryDB はそのサブネットグループを使用して、そのサブネット内でノードに関連付けるサブネットおよび IP アドレスを選択します。詳細については、[サブネットとサブネットグループ](#)を参照してください。

リクエストの構文

```
{
  "Description": "string",
  "SubnetGroupName": "string",
  "SubnetIds": [ "string" ],
  "Tags": [
    {
      "Key": "string",
      "Value": "string"
    }
  ]
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

Description

サブネットグループの説明。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

サブネットグループの名前。

型: 文字列

必須: はい

SubnetIds

サブネットグループの VPC サブネット ID のリスト。

タイプ: 文字列の配列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: Tag オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "SubnetGroup": {
    "ARN": "string",
    "Description": "string",
    "Name": "string",
    "Subnets": [
      {
        "AvailabilityZone": {
          "Name": "string"
        },
        "Identifier": "string"
      }
    ],
    "VpcId": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[SubnetGroup](#)

新しく作成されたサブネットグループ

型: [SubnetGroup](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidSubnet

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetGroupAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetGroupQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetNotAllowedFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

CreateUser

MemoryDB ユーザーを作成します。詳細については、[アクセスコントロールリスト \(ACL\) によるユーザーの認証](#)を参照してください。

リクエストの構文

```
{
  "AccessString": "string",
  "AuthenticationMode": {
    "Passwords": [ "string" ],
    "Type": "string"
  },
  "Tags": [
    {
      "Key": "string",
      "Value": "string"
    }
  ],
  "UserName": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[AccessString](#)

このユーザーに使用されるアクセス許可文字列。

型: 文字列

Pattern: .*\\S.*

必須: はい

[AuthenticationMode](#)

認証にパスワードが必要かどうかなど、ユーザーの認証プロパティを示します。

型: [AuthenticationMode](#) オブジェクト

必須: はい

[Tags](#)

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: [Tag](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

[UserName](#)

ユーザーの名前。この値はユーザー識別子の機能も果たすため、一意でなければなりません。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: `[a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-\-]*`

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
  "User": {
    "AccessString": "string",
    "ACLNames": [ "string" ],
    "ARN": "string",
    "Authentication": {
      "PasswordCount": number,
      "Type": "string"
    },
    "MinimumEngineVersion": "string",
    "Name": "string",
    "Status": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

User

新しく作成されたユーザー。

型: User オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

DuplicateUserNameFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード : 400

UserAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード : 400

UserQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DeleteACL

アクセスコントロールリストを削除します。ACL を削除する前に、クラスターとの関連付けを解除する必要があります。詳細については、[アクセスコントロールリスト \(ACL\) によるユーザーの認証](#)を参照してください。

リクエストの構文

```
{  
  "ACLName": "string"  
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[ACLName](#)

削除するアクセスコントロールリストの名前

型: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{  
  "ACL": {  
    "ARN": "string",  
    "Clusters": [ "string" ],  
    "MinimumEngineVersion": "string",  
    "Name": "string",  
    "PendingChanges": {  
      "UserNamesToAdd": [ "string" ],  
      "UserNamesToRemove": [ "string" ]  
    },  
    "Status": "string",  
  },  
}
```

```
    "UserNames": [ "string" ]  
  }  
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[ACL](#)

削除されたアクセスコントロールリストオブジェクト。

型: [ACL](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidACLStateFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DeleteCluster

クラスターを削除します。また、すべての関連するノードとノードエンドポイントも削除されます。

Note

CreateSnapshot 最終スナップショットを作成するには、アクセス許可が必要です。このアクセス許可がないと、API呼び出しはAccess Denied例外で失敗します。

リクエストの構文

```
{  
  "ClusterName": "string",  
  "FinalSnapshotName": "string"  
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、JSON形式の次のデータを受け入れます。

ClusterName

削除するクラスターの名前

型: 文字列

必須: はい

FinalSnapshotName

ユーザーが指定する、クラスターの最終スナップショットの名前。これは、スナップショットを識別する一意の名前です。MemoryDB はスナップショットを作成し、その直後にクラスターを削除します。

型: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "Cluster": {
    "ACLName": "string",
    "ARN": "string",
    "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
    "AvailabilityMode": "string",
    "ClusterEndpoint": {
      "Address": "string",
      "Port": number
    },
    "DataTiering": "string",
    "Description": "string",
    "EnginePatchVersion": "string",
    "EngineVersion": "string",
    "KmsKeyId": "string",
    "MaintenanceWindow": "string",
    "Name": "string",
    "NodeType": "string",
    "NumberOfShards": number,
    "ParameterGroupName": "string",
    "ParameterGroupStatus": "string",
    "PendingUpdates": {
      "ACLs": {
        "ACLToApply": "string"
      },
      "Resharding": {
        "SlotMigration": {
          "ProgressPercentage": number
        }
      }
    },
    "ServiceUpdates": [
      {
        "ServiceUpdateName": "string",
        "Status": "string"
      }
    ],
    "SecurityGroups": [
      {
        "SecurityGroupId": "string",
        "Status": "string"
      }
    ]
  }
}
```

```
    }
  ],
  "Shards": [
    {
      "Name": "string",
      "Nodes": [
        {
          "AvailabilityZone": "string",
          "CreateTime": number,
          "Endpoint": {
            "Address": "string",
            "Port": number
          },
          "Name": "string",
          "Status": "string"
        }
      ],
      "NumberOfNodes": number,
      "Slots": "string",
      "Status": "string"
    }
  ],
  "SnapshotRetentionLimit": number,
  "SnapshotWindow": "string",
  "SnsTopicArn": "string",
  "SnsTopicStatus": "string",
  "Status": "string",
  "SubnetGroupName": "string",
  "TLSEnabled": boolean
}
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

Cluster

削除されたクラスターオブジェクト

型: Cluster オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

SnapshotAlreadyExistsFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)
- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 用](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用の](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用の](#)

DeleteParameterGroup

指定したパラメータグループを削除します。パラメータグループがクラスターに関連付けられている場合は、パラメータグループを削除できません。アカウント内のデフォルトのパラメータグループを削除することはできません。

リクエストの構文

```
{
  "ParameterGroupName": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[ParameterGroupName](#)

削除するパラメータグループの名前。

型: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
  "ParameterGroup": {
    "ARN": "string",
    "Description": "string",
    "Family": "string",
    "Name": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[ParameterGroup](#)

削除されたパラメータグループ。

型: [ParameterGroup](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterGroupStateFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、[以下を参照してください](#)。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DeleteSnapshot

既存のスナップショットを削除します。この操作から正常に応答すると、MemoryDB はただちにスナップショットの削除を開始します。この操作をキャンセルしたり、元に戻したりすることはできません。

リクエストの構文

```
{  
  "SnapshotName": "string"  
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

SnapshotName

削除するスナップショットの名前

型: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{  
  "Snapshot": {  
    "ARN": "string",  
    "ClusterConfiguration": {  
      "Description": "string",  
      "EngineVersion": "string",  
      "MaintenanceWindow": "string",  
      "Name": "string",  
      "NodeType": "string",  
      "NumShards": number,  
    },  
  },  
}
```

```
"ParameterGroupName": "string",
"Port": number,
"Shards": [
  {
    "Configuration": {
      "ReplicaCount": number,
      "Slots": "string"
    },
    "Name": "string",
    "Size": "string",
    "SnapshotCreationTime": number
  }
],
"SnapshotRetentionLimit": number,
"SnapshotWindow": "string",
"SubnetGroupName": "string",
"TopicArn": "string",
"VpcId": "string"
},
"DataTiering": "string",
"KmsKeyId": "string",
"Name": "string",
"Source": "string",
>Status": "string"
}
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Snapshot

削除されたスナップショットオブジェクト。

型: [Snapshot](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidSnapshotStateFault

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DeleteSubnetGroup

サブネットグループを削除します。デフォルトのサブネットグループやクラスターに関連付けられているサブネットグループは削除できません。

リクエストの構文

```
{
  "SubnetGroupName": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

SubnetGroupName

削除するサブネットグループの名前

型: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
  "SubnetGroup": {
    "ARN": "string",
    "Description": "string",
    "Name": "string",
    "Subnets": [
      {
        "AvailabilityZone": {
          "Name": "string"
        },
        "Identifier": "string"
      }
    ]
  }
}
```

```
    ],  
    "VpcId": "string"  
  }  
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[SubnetGroup](#)

削除されたサブネットグループオブジェクト。

型: [SubnetGroup](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetGroupInUseFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、[以下を参照してください](#)。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)

- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DeleteUser

ユーザーを削除します。ユーザーはすべての ACL から削除され、次にすべてのクラスターから削除されます。

リクエストの構文

```
{
  "UserName": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

UserName

削除するユーザーの名前

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-\-]*

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
  "User": {
    "AccessString": "string",
    "ACLNames": [ "string" ],
    "ARN": "string",
    "Authentication": {
      "PasswordCount": number,
      "Type": "string"
    }
  }
}
```

```
    },  
    "MinimumEngineVersion": "string",  
    "Name": "string",  
    "Status": "string"  
  }  
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

User

削除されたユーザーオブジェクト。

型: User オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidUserStateFault

HTTP ステータスコード : 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、[以下を参照してください](#)。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DescribeACLs

ACL のリストを返します。

リクエストの構文

```
{  
  "ACLName": "string",  
  "MaxResults": number,  
  "NextToken": "string"  
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

ACLName

ACL の名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults 値よりも多くのレコードが存在する場合、残りの結果を取得できるようにトークンがレスポンスに含まれます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "ACLs": [
    {
      "ARN": "string",
      "Clusters": [ "string" ],
      "MinimumEngineVersion": "string",
      "Name": "string",
      "PendingChanges": {
        "UserNamesToAdd": [ "string" ],
        "UserNamesToRemove": [ "string" ]
      },
      "Status": "string",
      "UserNames": [ "string" ]
    }
  ],
  "NextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[ACLs](#)

ACL のリスト

型: [ACL](#) オブジェクトの配列

[NextToken](#)

nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DescribeClusters

クラスター識別子が指定されていない場合はすべてのプロビジョニングされたクラスターに関する情報を返し、クラスター識別子が指定されている場合は特定のクラスターについての情報を返します。

リクエストの構文

```
{
  "ClusterName": "string",
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string",
  "ShowShardDetails": boolean
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

ClusterName

クラスターの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults 値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれ、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークン

です。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

[ShowShardDetails](#)

個々のシャードに関する情報を取得するためのリクエストに含めることができるオプションのフラグ。

型: ブール値

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "Clusters": [
    {
      "ACLName": "string",
      "ARN": "string",
      "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
      "AvailabilityMode": "string",
      "ClusterEndpoint": {
        "Address": "string",
        "Port": number
      },
      "DataTiering": "string",
      "Description": "string",
      "EnginePatchVersion": "string",
      "EngineVersion": "string",
      "KmsKeyId": "string",
      "MaintenanceWindow": "string",
      "Name": "string",
      "NodeType": "string",
      "NumberOfShards": number,
      "ParameterGroupName": "string",
      "ParameterGroupStatus": "string",
      "PendingUpdates": {
        "ACLs": {
          "ACLToApply": "string"
        }
      }
    }
  ]
}
```

```
    },
    "Resharding": {
      "SlotMigration": {
        "ProgressPercentage": number
      }
    },
    "ServiceUpdates": [
      {
        "ServiceUpdateName": "string",
        "Status": "string"
      }
    ]
  },
  "SecurityGroups": [
    {
      "SecurityGroupId": "string",
      "Status": "string"
    }
  ],
  "Shards": [
    {
      "Name": "string",
      "Nodes": [
        {
          "AvailabilityZone": "string",
          "CreateTime": number,
          "Endpoint": {
            "Address": "string",
            "Port": number
          },
          "Name": "string",
          "Status": "string"
        }
      ],
      "NumberOfNodes": number,
      "Slots": "string",
      "Status": "string"
    }
  ],
  "SnapshotRetentionLimit": number,
  "SnapshotWindow": "string",
  "SnsTopicArn": "string",
  "SnsTopicStatus": "string",
  "Status": "string",
```

```
    "SubnetGroupName": "string",  
    "TLSEnabled": boolean  
  }  
],  
"NextToken": "string"  
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Clusters

クラスターのリスト

型: [Cluster](#) オブジェクトの配列

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DescribeEngineVersions

使用可能な Redis OSS エンジンバージョンのリストを返します。

リクエストの構文

```
{  
  "DefaultOnly": boolean,  
  "EngineVersion": "string",  
  "MaxResults": number,  
  "NextToken": "string",  
  "ParameterGroupFamily": "string"  
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは、JSON形式の次のデータを受け入れます。

[DefaultOnly](#)

true の場合、指定されたエンジンまたはエンジンとメジャーバージョンの組み合わせのデフォルトバージョンのみを返すよう指定します。

型: ブール値

必須: いいえ

[EngineVersion](#)

Redis OSS エンジンのバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

[MaxResults](#)

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults 値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれ、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合、より多くの結果が得られます。の値は、ページごとに一意のページ割りトークン nextToken です。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupFamily

詳細を返す特定のパラメータグループファミリー名。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "EngineVersions": [
    {
      "EnginePatchVersion": "string",
      "EngineVersion": "string",
      "ParameterGroupFamily": "string"
    }
  ],
  "NextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは 200 HTTP レスポンスを返します。

次のデータは、サービスによって JSON 形式で返されます。

EngineVersions

エンジンバージョンの詳細のリスト。リストの各要素には、1つのエンジンバージョンに関する詳細情報が含まれています。

型: [EngineVersionInfo](#) オブジェクトの配列

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合、より多くの結果が得られます。の値は、ページごとに一意のページ割りトークン nextToken です。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード: 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード: 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK の 。NET](#)

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK Go v2 用](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK PHP V3 用の](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用の](#)

DescribeEvents

クラスター、セキュリティグループ、パラメータグループに関連するイベントを返します。特定のクラスター、セキュリティグループ、またはパラメータグループに固有のイベントは、名前をパラメータとして指定して取得します。デフォルトでは、過去 1 時間以内に発生したイベントのみが返されます。ただし、必要に応じて最大 14 日分のイベントを取得できます。

リクエストの構文

```
{
  "Duration": number,
  "EndTime": number,
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string",
  "SourceName": "string",
  "SourceType": "string",
  "StartTime": number
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

Duration

取得するイベントの分数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

EndTime

ISO 8601 形式で指定された、イベントを取得する時間間隔の終了時刻。例: 2017 年 3 月 30 日 T07:03:49.555Z

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults 値よりも多くのレコードが存在する場合、残りの結果を取得できるようにトークンがレスポンスに含まれます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SourceName

イベントが返されるイベントソースの識別子。指定しない場合は、すべてのソースはレスポンスに含まれます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SourceType

イベントソースのイベントを取得します。値を指定しない場合、すべてのイベントが返されます。

型: 文字列

有効な値 : node | parameter-group | subnet-group | cluster | user | acl

必須 : いいえ

StartTime

ISO 8601 形式で指定された、イベントを取得する時間間隔の開始時刻。例: 2017 年 3 月 30 日 T07:03:49.555Z

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "Events": [
    {
      "Date": number,
      "Message": "string",
      "SourceName": "string",
      "SourceType": "string"
    }
  ],
  "NextToken": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

Events

イベントのリスト。リストの各要素には、1つのイベントに関する詳細情報が含まれています。

型: [Event](#) オブジェクトの配列

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

型: 文字列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DescribeParameterGroups

パラメータグループの説明のリストを返します。パラメータグループ名を指定した場合、リストにはそのグループの説明のみが含まれます。

リクエストの構文

```
{
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string",
  "ParameterGroupName": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults 値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれ、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupName

詳細を返す特定のパラメータグループの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "NextToken": "string",
  "ParameterGroups": [
    {
      "ARN": "string",
      "Description": "string",
      "Family": "string",
      "Name": "string"
    }
  ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[NextToken](#)

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

型: 文字列

[ParameterGroups](#)

パラメータグループのリスト。リストの各要素には、1つのパラメータグループに関する詳細情報が含まれています。

型: [ParameterGroup](#) オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DescribeParameters

特定の ラメータグループの詳細なパラメータリストを返します。

リクエストの構文

```
{  
  "MaxResults": number,  
  "NextToken": "string",  
  "ParameterGroupName": "string"  
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults 値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれ、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupName

詳細を返す特定のパラメータグループ名。

型: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
  "NextToken": "string",
  "Parameters": [
    {
      "AllowedValues": "string",
      "DataType": "string",
      "Description": "string",
      "MinimumEngineVersion": "string",
      "Name": "string",
      "Value": "string"
    }
  ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

型: 文字列

Parameters

特定のパラメータグループに固有のパラメータのリスト。リストの各要素には、1つのパラメータに関する詳細情報が含まれています。

型: [Parameter](#) オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DescribeReservedNodes

このアカウントのリザーブドノード、または指定したリザーブドノードに関する情報を返します。

リクエストの構文

```
{
  "Duration": "string",
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string",
  "NodeType": "string",
  "OfferingType": "string",
  "ReservationId": "string",
  "ReservedNodesOfferingId": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

Duration

年または秒単位で指定した期間フィルター値。この期間の予約のみを表示するには、このパラメータを使用します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxRecords 値よりも多くのレコードが存在する場合、残りの結果を取得できるように、レスポンスにマーカーが含まれます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

以前のリクエストから返されたオプションのマーカー。この操作の結果をページ分割するには、このマーカーを使用します。このパラメータを指定すると、で指定された値まで、レスポンスには マーカー以外のレコードのみが含まれます MaxRecords。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

ノードタイプフィルター値。指定したノードタイプに一致する予約のみが表示するには、このパラメータを使用します。詳細については、「[サポートされているノードの種類](#)」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

OfferingType

提供タイプのフィルター値。指定した提供タイプと一致する使用可能なサービスのみを表示するには、このパラメータを使用してください。有効な値: 「全前払い」 | 「一部前払い」 | 「前払いなし」

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReservationId

リザーブドノード識別子フィルター値。指定した予約 ID に一致する予約のみを表示するには、このパラメータを使用します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReservedNodesOfferingId

提供識別子のフィルター値。指定したオファリング ID と一致する購入済みの予約のみを表示するには、このパラメータを使用します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "NextToken": "string",
  "ReservedNodes": [
    {
      "ARN": "string",
      "Duration": number,
      "FixedPrice": number,
      "NodeCount": number,
      "NodeType": "string",
      "OfferingType": "string",
      "RecurringCharges": [
        {
          "RecurringChargeAmount": number,
          "RecurringChargeFrequency": "string"
        }
      ],
      "ReservationId": "string",
      "ReservedNodesOfferingId": "string",
      "StartTime": number,
      "State": "string"
    }
  ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[NextToken](#)

以前のリクエストから返されたオプションのマーカ。この操作の結果をページ分割するには、このマーカを使用します。このパラメータを指定すると、で指定された値まで、レスポンスには マーカー以外のレコードのみが含まれます MaxRecords。

型: 文字列

ReservedNodes

このアカウントのリザーブドノード、または指定したリザーブドノードに関する情報を返します。

型: [ReservedNode](#) オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ReservedNodeNotFoundFault

リクエストされたノードは存在しません。

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DescribeReservedNodesOfferings

使用可能なリザーブドノードサービスを一覧表示します。

リクエストの構文

```
{
  "Duration": "string",
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string",
  "NodeType": "string",
  "OfferingType": "string",
  "ReservedNodesOfferingId": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

Duration

年または秒単位で指定された期間フィルター値。特定の期間の予約のみを表示するには、このパラメータを使用します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxRecords 値よりも多くのレコードが存在する場合、残りの結果を取得できるように、レスポンスにマーカーが含まれます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

以前のリクエストから返されたオプションのマーカ。この操作の結果をページ分割するには、このマーカを使用します。このパラメータを指定すると、で指定された値まで、レスポンスにはマーカ以外のレコードのみが含まれます MaxRecords。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

リザーブドノードのノードタイプ。詳細については、「[サポートされているノードの種類](#)」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

OfferingType

提供タイプのフィルター値。指定した提供タイプと一致する使用可能なサービスのみを表示するには、このパラメータを使用してください。有効な値: 「全前払い」 | 「一部前払い」 | 「前払いなし」

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReservedNodesOfferingId

提供識別子のフィルター値。このパラメータを使用すると、指定した予約識別子に一致する利用可能な提供のみが表示されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "NextToken": "string",
  "ReservedNodesOfferings": [
```

```
{
  "Duration": number,
  "FixedPrice": number,
  "NodeType": "string",
  "OfferingType": "string",
  "RecurringCharges": [
    {
      "RecurringChargeAmount": number,
      "RecurringChargeFrequency": "string"
    }
  ],
  "ReservedNodesOfferingId": "string"
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[NextToken](#)

以前のリクエストから返されたオプションのマーカー。この操作の結果をページ分割するには、このマーカーを使用します。このパラメータを指定すると、で指定された値まで、レスポンスにはマーカー以外のレコードのみが含まれます MaxRecords。

型: 文字列

[ReservedNodesOfferings](#)

使用可能なリザーブドノードサービスを一覧表示します。

型: [ReservedNodesOffering](#) オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ReservedNodesOfferingNotFoundFault

リクエストされたノードサービスは存在しません。

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DescribeServiceUpdates

サービス更新の詳細を返す

リクエストの構文

```
{
  "ClusterNames": [ "string" ],
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string",
  "ServiceUpdateName": "string",
  "Status": [ "string" ]
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[ClusterNames](#)

適用するサービスの更新を識別するためのクラスター名のリスト

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最大数は 20 項目です。

必須: いいえ

[MaxResults](#)

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults 値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれ、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

[NextToken](#)

レコードの合計数が `MaxResults` の値を超えた場合に渡すオプションの引数 `MaxResults`。 `nextToken` が返された場合は、さらに結果があります。 `nextToken` の値は、各ページに固有のページ分割トークン

です。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ServiceUpdateName

説明するサービス更新の一意の ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

フィルターの対象となるサービス更新のステータス

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最大数は 4 項目です。

有効な値: available | in-progress | complete | scheduled

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "NextToken": "string",
  "ServiceUpdates": [
    {
      "AutoUpdateStartDate": number,
      "ClusterName": "string",
      "Description": "string",
      "NodesUpdated": "string",
      "ReleaseDate": number,
      "ServiceUpdateName": "string",
      "Status": "string",
      "Type": "string"
    }
  ]
}
```

```
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[NextToken](#)

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

型: 文字列

[ServiceUpdates](#)

サービス更新のリスト

型: [ServiceUpdate](#) オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DescribeSnapshots

クラスタースナップショットに関する情報を返します。デフォルトでは、はすべてのスナップショットを DescribeSnapshots 一覧表示します。オプションで 1 つのスナップショットを記述することも、特定のクラスターに関連付けられたスナップショットのみを記述することもできます。

リクエストの構文

```
{
  "ClusterName": "string",
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string",
  "ShowDetail": boolean,
  "SnapshotName": "string",
  "Source": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

ClusterName

ユーザーが指定したクラスター識別子。このパラメータを指定した場合、その特定のクラスターに関連するスナップショットのみ表示されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults 値よりも多くのレコードが存在する場合、残りの結果を取得できるようにトークンがレスポンスに含まれます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

[NextToken](#)

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

[ShowDetail](#)

ブール値が true の場合、シャード設定はスナップショットの説明に含まれます。

型: ブール値

必須: いいえ

[SnapshotName](#)

ユーザーが指定するスナップショットの名前。このパラメータを指定した場合、この名前付きスナップショットのみを表示されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

[Source](#)

system に設定すると、出力には MemoryDB によって自動的に作成されたスナップショットが表示されます。user に設定すると、出力には手動で作成されたスナップショットが表示されます。省略すると、出力には、自動生成と手動作成、両方のスナップショットが表示されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "NextToken": "string",
```

```
"Snapshots": [  
  {  
    "ARN": "string",  
    "ClusterConfiguration": {  
      "Description": "string",  
      "EngineVersion": "string",  
      "MaintenanceWindow": "string",  
      "Name": "string",  
      "NodeType": "string",  
      "NumShards": number,  
      "ParameterGroupName": "string",  
      "Port": number,  
      "Shards": [  
        {  
          "Configuration": {  
            "ReplicaCount": number,  
            "Slots": "string"  
          },  
          "Name": "string",  
          "Size": "string",  
          "SnapshotCreationTime": number  
        }  
      ],  
      "SnapshotRetentionLimit": number,  
      "SnapshotWindow": "string",  
      "SubnetGroupName": "string",  
      "TopicArn": "string",  
      "VpcId": "string"  
    },  
    "DataTiering": "string",  
    "KmsKeyId": "string",  
    "Name": "string",  
    "Source": "string",  
    "Status": "string"  
  }  
]
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

型: 文字列

Snapshots

スナップショットのリスト。リストの各項目には、1つのスナップショットに関する詳細情報が含まれています。

型: [Snapshot](#) オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DescribeSubnetGroups

サブネットグループの説明のリストを返します。サブネットグループ名を指定した場合、リストにはそのグループの説明のみが含まれます。

リクエストの構文

```
{  
  "MaxResults": number,  
  "NextToken": "string",  
  "SubnetGroupName": "string"  
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults 値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれ、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

詳細を返すサブネットグループ名。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "NextToken": "string",
  "SubnetGroups": [
    {
      "ARN": "string",
      "Description": "string",
      "Name": "string",
      "Subnets": [
        {
          "AvailabilityZone": {
            "Name": "string"
          },
          "Identifier": "string"
        }
      ],
      "VpcId": "string"
    }
  ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[NextToken](#)

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

型: 文字列

[SubnetGroups](#)

サブネットグループのリスト。リストの各要素には、1つのグループに関する詳細情報が含まれています。

型: [SubnetGroup](#) オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

DescribeUsers

ユーザーのリストを返します。

リクエストの構文

```
{
  "Filters": [
    {
      "Name": "string",
      "Values": [ "string" ]
    }
  ],
  "MaxResults": number,
  "NextToken": "string",
  "UserName": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

Filters

フィルターして、返すユーザーリストを決定します。

型: [Filter](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

MaxResults

レスポンスに含めるレコードの最大数。指定された MaxResults 値よりも多くのレコードが存在する場合、トークンがレスポンスに含まれ、残りの結果を取得できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

UserName

ユーザーの名前

型: 文字列

長さの制限 : 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-\-]*

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "NextToken": "string",
  "Users": [
    {
      "AccessString": "string",
      "ACLNames": [ "string" ],
      "ARN": "string",
      "Authentication": {
        "PasswordCount": number,
        "Type": "string"
      },
      "MinimumEngineVersion": "string",
      "Name": "string",
      "Status": "string"
    }
  ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

NextToken

レコードの合計数が の値を超えた場合に渡すオプションの引数 MaxResults。nextToken が返された場合は、さらに結果があります。nextToken の値は、各ページに固有のページ分割トークンです。後続ページを取得するには、返されたトークンを使用して再度呼び出します。他の引数をすべて維持します。

型: 文字列

Users

ユーザーのリスト。

型: [User](#) オブジェクトの配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

FailoverShard

シャードのフェイルオーバーに使用されます。この API は、MemoryDB でフェイルオーバーが発生した場合のアプリケーションの動作をテストするために設計されています。クラスターで発生する可能性のある問題を解決するためにフェイルオーバーを開始するための本番稼働レベルツールとして使用するようには設計されていません。さらに、大規模な運用イベントなどの特定の条件下では、Amazon がこの API をブロックする可能性があります。

リクエストの構文

```
{
  "ClusterName": "string",
  "ShardName": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

ClusterName

フェイルオーバー中のクラスター

型: 文字列

必須: はい

ShardName

シャードの名前

型: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
  "Cluster": {
```

```
"ACLName": "string",
"ARN": "string",
"AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
"AvailabilityMode": "string",
"ClusterEndpoint": {
  "Address": "string",
  "Port": number
},
"DataTiering": "string",
"Description": "string",
"EnginePatchVersion": "string",
"EngineVersion": "string",
"KmsKeyId": "string",
"MaintenanceWindow": "string",
"Name": "string",
"NodeType": "string",
"NumberOfShards": number,
"ParameterGroupName": "string",
"ParameterGroupStatus": "string",
"PendingUpdates": {
  "ACLs": {
    "ACLToApply": "string"
  },
  "Resharding": {
    "SlotMigration": {
      "ProgressPercentage": number
    }
  },
  "ServiceUpdates": [
    {
      "ServiceUpdateName": "string",
      "Status": "string"
    }
  ]
},
"SecurityGroups": [
  {
    "SecurityGroupId": "string",
    "Status": "string"
  }
],
"Shards": [
  {
    "Name": "string",
```

```
    "Nodes": [
      {
        "AvailabilityZone": "string",
        "CreateTime": number,
        "Endpoint": {
          "Address": "string",
          "Port": number
        },
        "Name": "string",
        "Status": "string"
      }
    ],
    "NumberOfNodes": number,
    "Slots": "string",
    "Status": "string"
  }
],
"SnapshotRetentionLimit": number,
"SnapshotWindow": "string",
"SnsTopicArn": "string",
"SnsTopicStatus": "string",
"Status": "string",
"SubnetGroupName": "string",
"TLSEnabled": boolean
}
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[Cluster](#)

フェイルオーバー中のクラスター

型: [Cluster](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

APICallRateForCustomerExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidKMSKeyFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ShardNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

TestFailoverNotAvailableFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListAllowedNodeTypeUpdates

クラスターの現在のノードタイプからスケールできるすべてのノードタイプを一覧表示します。UpdateCluster オペレーションを使用してクラスターをスケーリングする場合、NodeType パラメータの値は、このオペレーションによって返されるノードタイプの 1 つである必要があります。

リクエストの構文

```
{  
  "ClusterName": "string"  
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

ClusterName

スケールするクラスターの名前。MemoryDB はクラスター名を使用してこのクラスターで使用されている現在のノードタイプを識別し、その名前からスケールアップできるノードタイプのリストを作成します。

型: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{  
  "ScaleDownNodeTypes": [ "string" ],  
  "ScaleUpNodeTypes": [ "string" ]  
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ScaleDownNodeTypes

クラスターのスケールダウンに使用できるノードタイプの一覧です。

タイプ : 文字列の配列

ScaleUpNodeTypes

クラスターのスケールアップに使用できるノードタイプの一覧です。

タイプ : 文字列の配列

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、[以下を参照してください](#)。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)

- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ListTags

名前付きリソースに現在あるすべてのタグを一覧表示します。タグは、大文字と小文字を区別するキーと値のペアです。タグを使用して MemoryDB リソースを分類および追跡することもできます。詳細については、「[Tagging your MemoryDB resources](#)」を参照してください。

リクエストの構文

```
{  
  "ResourceArn": "string"  
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[ResourceArn](#)

タグのリストを取得したいリソースの Amazon リソースネーム (ARN)

型: 文字列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{  
  "TagList": [  
    {  
      "Key": "string",  
      "Value": "string"  
    }  
  ]  
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

TagList

キーと値のペアとしてのタグのリスト。

型: [Tag](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidARNFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード : 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

PurchaseReservedNodesOffering

リザーブドノードサービスの購入を許可します。リザーブドノードはキャンセルの対象外であり、払い戻しもできません。

リクエストの構文

```
{
  "NodeCount": number,
  "ReservationId": "string",
  "ReservedNodesOfferingId": "string",
  "Tags": [
    {
      "Key": "string",
      "Value": "string"
    }
  ]
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

NodeCount

予約するノードインスタンスの数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

ReservationId

この予約を追跡するユーザー指定の一意識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReservedNodesOfferingId

購入するリザーブドノードサービスの ID。

型: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: [Tag](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "ReservedNode": {
    "ARN": "string",
    "Duration": number,
    "FixedPrice": number,
    "NodeCount": number,
    "NodeType": "string",
    "OfferingType": "string",
    "RecurringCharges": [
      {
        "RecurringChargeAmount": number,
        "RecurringChargeFrequency": "string"
      }
    ],
    "ReservationId": "string",
    "ReservedNodesOfferingId": "string",
    "StartTime": number,
    "State": "string"
  }
}
```


レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[ReservedNode](#)

PurchaseReservedNodesOffering オペレーションの出力を表します。

型: [ReservedNode](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ReservedNodeAlreadyExistsFault

指定された識別子を持つ予約をすでに持っています。

HTTP ステータスコード : 400

ReservedNodeQuotaExceededFault

リクエストは、ユーザーのノードクォータを超えるため処理できません。

HTTP ステータスコード : 400

ReservedNodesOfferingNotFoundFault

リクエストされたノードサービスは存在しません。

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ResetParameterGroup

パラメータグループのパラメータをエンジン/システムのデフォルト値に変更します。パラメータ名のリストを送信することで、特定のパラメータをリセットできます。パラメータグループ全体をリセットするには、AllParameters および ParameterGroupName パラメータを指定します。

リクエストの構文

```
{
  "AllParameters": boolean,
  "ParameterGroupName": "string",
  "ParameterNames": [ "string" ]
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[AllParameters](#)

true の場合、パラメータグループのすべてのパラメータがデフォルト値にリセットされます。false の場合、によってリストされたパラメータのみがデフォルト値にリセット ParameterNames されます。

型: ブール値

必須: いいえ

[ParameterGroupName](#)

リセットするパラメータグループの名前。

型: 文字列

必須: はい

ParameterNames

デフォルト値にリセットするパラメータ名の配列。AllParameters が true の場合は、を使用しないでください ParameterNames。AllParameters が false の場合、リセットするパラメータを少なくとも 1 つ指定する必要があります。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "ParameterGroup": {
    "ARN": "string",
    "Description": "string",
    "Family": "string",
    "Name": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

ParameterGroup

リセット中のパラメータグループ。

型: [ParameterGroup](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード: 400

InvalidParameterGroupStateFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

TagResource

タグは、大文字と小文字を区別するキーと値のペアです。タグを使用してすべての MemoryDB リソースを分類および追跡できます。クラスターでタグを追加または削除すると、それらのアクションはクラスター内のすべてのノードに複製されます。詳細については、「[リソースレベルのアクセス許可](#)」を参照してください。

例えば、コスト配分タグを MemoryDB リソースに適用すると、Amazon は、使用量とコストがタグごとに集計されたコスト配分レポートをカンマ区切り値 (CSV) ファイルとして生成します。自社のカテゴリたとえばコストセンター、アプリケーション名、所有者を表すタグを適用すると、複数のサービスにわたってコストを分類することができます。詳細については、「[コスト配分タグの使用](#)」を参照してください。

リクエストの構文

```
{
  "ResourceArn": "string",
  "Tags": [
    {
      "Key": "string",
      "Value": "string"
    }
  ]
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[ResourceArn](#)

タグを追加するリソースの Amazon リソースネーム (ARN)

型: 文字列

必須: はい

Tags

このリソースに追加するタグのリスト。タグはキーと値のペアで構成されます。タグキーにはタグ値を付ける必要がありますが、null でもかまいません。

型: [Tag](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
  "TagList": [
    {
      "Key": "string",
      "Value": "string"
    }
  ]
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

TagList

キーと値のペアとしてのタグのリスト。

型: [Tag](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidARNFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード : 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

TagQuotaPerResourceExceeded

HTTP ステータスコード : 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UntagResource

リソースからタグを削除するには、このオペレーションを使用します。

リクエストの構文

```
{  
  "ResourceArn": "string",  
  "TagKeys": [ "string" ]  
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[ResourceArn](#)

タグを削除するリソースの Amazon リソースネーム (ARN)

型: 文字列

必須: はい

[TagKeys](#)

削除されるタグのキーのリスト

タイプ: 文字列の配列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{  
  "TagList": [  
    {  
      "Key": "string",  
      "Value": "string"  
    }  
  ]  
}
```

```
    }  
  ]  
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

TagList

削除されたタグのリスト

型: [Tag](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最大数は 200 項目です。

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidARNFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード : 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SnapshotNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

TagNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UpdateACL

アクセスコントロールリストに属するユーザーのリストを変更します。

リクエストの構文

```
{
  "ACLName": "string",
  "UserNamesToAdd": [ "string" ],
  "UserNamesToRemove": [ "string" ]
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

ACLName

アクセスコントロールリストの名前

型: 文字列

必須: はい

UserNamesToAdd

アクセスコントロールリストに追加するユーザーのリスト

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-\-]*

必須: いいえ

UserNamesToRemove

アクセスコントロールリストから削除するユーザーのリスト

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-\-]*

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "ACL": {
    "ARN": "string",
    "Clusters": [ "string" ],
    "MinimumEngineVersion": "string",
    "Name": "string",
    "PendingChanges": {
      "UserNamesToAdd": [ "string" ],
      "UserNamesToRemove": [ "string" ]
    },
    "Status": "string",
    "UserNames": [ "string" ]
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[ACL](#)

更新された Access Control List

型: [ACL](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

DefaultUserRequired

HTTP ステータスコード : 400

DuplicateUserNameFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidACLStateFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)

- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UpdateCluster

クラスターの設定を変更します。この操作では、設定と新しい値を指定することで、1つ以上のクラスター設定の設定内容を変更できます。

リクエストの構文

```
{
  "ACLName": "string",
  "ClusterName": "string",
  "Description": "string",
  "EngineVersion": "string",
  "MaintenanceWindow": "string",
  "NodeType": "string",
  "ParameterGroupName": "string",
  "ReplicaConfiguration": {
    "ReplicaCount": number
  },
  "SecurityGroupIds": [ "string" ],
  "ShardConfiguration": {
    "ShardCount": number
  },
  "SnapshotRetentionLimit": number,
  "SnapshotWindow": "string",
  "SnsTopicArn": "string",
  "SnsTopicStatus": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

ACLName

クラスターに関連付けられているアクセスコントロールリスト

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-\-]*

必須: いいえ

ClusterName

更新するクラスターの名前

型: 文字列

必須: はい

Description

更新するクラスターの説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

ノードで実行されるエンジンのアップグレードバージョン。より新しいエンジンバージョンにアップグレードできますが、以前のエンジンバージョンにダウングレードすることはできません。以前のエンジンバージョンを使用する場合は、既存のクラスターを削除し、新たにそれを以前のエンジンバージョンで作成する必要があります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaintenanceWindow

クラスターの週次メンテナンスを実行する時間範囲を指定します。範囲は ddd:hh24:mi-ddd:hh24:mi (UTC 24 時間制) の形式で指定します。最短メンテナンス期間は 60 分です。

ddd の有効値は、次のとおりです。

- sun
- mon
- tue
- wed
- thu
- fri

- `sat`

例: `sun:23:00-mon:01:30`

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

このクラスターをスケールアップまたはスケールダウンする有効なノードタイプ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupName

更新するパラメータグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReplicaConfiguration

各シャードに配置するレプリカの数

タイプ: [ReplicaConfigurationRequest](#) オブジェクト

必須: いいえ

SecurityGroupIds

更新 SecurityGroupIds する

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

ShardConfiguration

クラスター内のシャードの数

タイプ: [ShardConfigurationRequest](#) オブジェクト

必須: いいえ

SnapshotRetentionLimit

MemoryDB によって自動クラスタースナップショットが保持される日数。この日数を超えると、自動スナップショットは削除されます。例えば、SnapshotRetentionLimit を 5 に設定した場合、今日作成されたスナップショットは 5 日間保持され、その後削除されます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

SnapshotWindow

MemoryDB が、クラスターの毎日のスナップショットの取得を開始する毎日の時間範囲 (UTC)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnsTopicArn

更新する SNS トピック ARN

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnsTopicStatus

Amazon SNS 通知トピックのステータス。通知はステータスがアクティブな場合にのみ送信されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "Cluster": {
    "ACLName": "string",
    "ARN": "string",
    "AutoMinorVersionUpgrade": boolean,
    "AvailabilityMode": "string",
    "ClusterEndpoint": {
      "Address": "string",
```

```
    "Port": number
  },
  "DataTiering": "string",
  "Description": "string",
  "EnginePatchVersion": "string",
  "EngineVersion": "string",
  "KmsKeyId": "string",
  "MaintenanceWindow": "string",
  "Name": "string",
  "NodeType": "string",
  "NumberOfShards": number,
  "ParameterGroupName": "string",
  "ParameterGroupStatus": "string",
  "PendingUpdates": {
    "ACLS": {
      "ACLToApply": "string"
    },
    "Resharding": {
      "SlotMigration": {
        "ProgressPercentage": number
      }
    },
    "ServiceUpdates": [
      {
        "ServiceUpdateName": "string",
        "Status": "string"
      }
    ]
  },
  "SecurityGroups": [
    {
      "SecurityGroupId": "string",
      "Status": "string"
    }
  ],
  "Shards": [
    {
      "Name": "string",
      "Nodes": [
        {
          "AvailabilityZone": "string",
          "CreateTime": number,
          "Endpoint": {
            "Address": "string",
```

```
        "Port": number
      },
      "Name": "string",
      "Status": "string"
    }
  ],
  "NumberOfNodes": number,
  "Slots": "string",
  "Status": "string"
}
],
"SnapshotRetentionLimit": number,
"SnapshotWindow": "string",
"SnsTopicArn": "string",
"SnsTopicStatus": "string",
"Status": "string",
"SubnetGroupName": "string",
"TLSEnabled": boolean
}
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[Cluster](#)

更新されたクラスター

型: [Cluster](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

ACLNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ClusterNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ClusterQuotaForCustomerExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidACLStateFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidClusterStateFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidKMSKeyFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidNodeStateFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidVPCNetworkStateFault

HTTP ステータスコード : 400

NodeQuotaForClusterExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

NodeQuotaForCustomerExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

NoOperationFault

HTTP ステータスコード : 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

ShardsPerClusterQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UpdateParameterGroup

パラメータグループのパラメータを更新します。パラメータ名と値のペアのリストを送信することで、1回のリクエストで20個までパラメータを変更できます。

リクエストの構文

```
{
  "ParameterGroupName": "string",
  "ParameterNameValues": [
    {
      "ParameterName": "string",
      "ParameterValue": "string"
    }
  ]
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下のJSON形式のデータを受け入れます。

[ParameterGroupName](#)

更新するグループの名前。

型: 文字列

必須: はい

[ParameterNameValues](#)

パラメータを更新するためのパラメータ名と値の配列。少なくとも1つのパラメータ名および値を指定する必要があります。後続の引数はオプションです。1リクエストあたり最大20個のパラメータを更新できます。

型: [ParameterNameValue](#) オブジェクトの配列

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
  "ParameterGroup": {
    "ARN": "string",
    "Description": "string",
    "Family": "string",
    "Name": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

[ParameterGroup](#)

更新されたパラメータグループ

型: [ParameterGroup](#) オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterGroupStateFault

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

ParameterGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400
ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UpdateSubnetGroup

サブネットグループを更新します。詳細については、「[Updating a subnet group](#)」を参照してください。

リクエストの構文

```
{
  "Description": "string",
  "SubnetGroupName": "string",
  "SubnetIds": [ "string" ]
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

Description

サブネットグループの説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

サブネットグループの名前

型: 文字列

必須: はい

SubnetIds

サブネットグループの EC2 サブネット ID。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

レスポンスの構文

```
{
  "SubnetGroup": {
    "ARN": "string",
    "Description": "string",
    "Name": "string",
    "Subnets": [
      {
        "AvailabilityZone": {
          "Name": "string"
        },
        "Identifier": "string"
      }
    ],
    "VpcId": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

SubnetGroup

更新されたサブネットグループ

型: SubnetGroup オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、共通エラー を参照してください。

InvalidSubnet

HTTP ステータスコード : 400

ServiceLinkedRoleNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetGroupNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetInUse

HTTP ステータスコード : 400

SubnetNotAllowedFault

HTTP ステータスコード : 400

SubnetQuotaExceededFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UpdateUser

ユーザーのパスワードまたはアクセス文字列を変更します。

リクエストの構文

```
{
  "AccessString": "string",
  "AuthenticationMode": {
    "Passwords": [ "string" ],
    "Type": "string"
  },
  "UserName": "string"
}
```

リクエストパラメータ

すべてのアクションに共通のパラメータの詳細については、「[共通パラメータ](#)」を参照してください。

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

[AccessString](#)

このユーザーに使用されるアクセス許可文字列。

型: 文字列

パターン: .*\\S.*

必須: いいえ

[AuthenticationMode](#)

認証にパスワードが必要かどうかなど、ユーザーの認証プロパティを示します。

タイプ: [AuthenticationMode](#) オブジェクト

必須: いいえ

[UserName](#)

ユーザーの名前

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-\-]*

必須: はい

レスポンスの構文

```
{
  "User": {
    "AccessString": "string",
    "ACLNames": [ "string" ],
    "ARN": "string",
    "Authentication": {
      "PasswordCount": number,
      "Type": "string"
    },
    "MinimumEngineVersion": "string",
    "Name": "string",
    "Status": "string"
  }
}
```

レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

User

更新されたユーザー

型: User オブジェクト

エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、[共通エラー](#) を参照してください。

InvalidParameterCombinationException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidParameterValueException

HTTP ステータスコード : 400

InvalidUserStateFault

HTTP ステータスコード : 400

UserNotFoundFault

HTTP ステータスコード : 400

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

データ型

Amazon MemoryDB API には、さまざまなアクションが使用する複数のデータ型が含まれています。このセクションでは、各データ型について詳しく説明します。

Note

データ型構造内の各要素の順序は保証されません。アプリケーションは特定の順序を想定するべきではありません。

以下のデータ型 (タイプ) がサポートされています。

- [ACL](#)
- [ACLPendingChanges](#)
- [ACLsUpdateStatus](#)
- [Authentication](#)
- [AuthenticationMode](#)
- [AvailabilityZone](#)
- [Cluster](#)
- [ClusterConfiguration](#)
- [ClusterPendingUpdates](#)
- [Endpoint](#)
- [EngineVersionInfo](#)
- [Event](#)
- [Filter](#)
- [Node](#)
- [Parameter](#)
- [ParameterGroup](#)
- [ParameterNameValue](#)
- [PendingModifiedServiceUpdate](#)
- [RecurringCharge](#)
- [ReplicaConfigurationRequest](#)

- [ReservedNode](#)
- [ReservedNodesOffering](#)
- [ReshardingStatus](#)
- [SecurityGroupMembership](#)
- [ServiceUpdate](#)
- [ServiceUpdateRequest](#)
- [Shard](#)
- [ShardConfiguration](#)
- [ShardConfigurationRequest](#)
- [ShardDetail](#)
- [SlotMigration](#)
- [Snapshot](#)
- [Subnet](#)
- [SubnetGroup](#)
- [Tag](#)
- [UnprocessedCluster](#)
- [User](#)

ACL

アクセスコントロールリスト。アクセスコントロールリストを使用してユーザーを認証できません。ACL を使用すると、ユーザーをグループ化してクラスターアクセスを制御できます。これらのアクセスコントロールリストは、クラスターへのアクセスを分類する方法として設計されています。

内容

ARN

ACL の Amazon リソースネーム (ARN)

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Clusters

ACL に関連付けられているクラスターのリスト。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

MinimumEngineVersion

ACL でサポートされる最小エンジンバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

アクセスコントロールリストの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

PendingChanges

ACL に適用されている更新リスト。

タイプ: [ACLPendingChanges](#) オブジェクト

必須: いいえ

Status

ACL のステータスを表示します。「creating (作成中)」、「active (アクティブ)」、「modifying (変更中)」、「deleting (削除中)」になります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

UserNames

ACL に属するユーザー名のリスト。

型: 文字列の配列

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-*]

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ACLPendingChanges

ACL に適用されている更新を返します。

内容

UserNamesToAdd

ACL に追加されるユーザーのリスト

型: 文字列の配列

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-*]

必須: いいえ

UserNamesToRemove

ACL から削除されるユーザー名のリスト

型: 文字列の配列

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-*]

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ACLsUpdateStatus

ACL 更新のステータス

内容

ACLToApply

適用が保留になっている ACL のリスト。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-\-]*

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Authentication

認証にパスワードが必要かどうかなど、ユーザーの認証プロパティを示します。出力レスポンスに使用されます。

内容

PasswordCount

ユーザーに属するパスワードの数。最大数は 2 です。

タイプ: 整数

必須: いいえ

Type

ユーザーが認証にパスワードを要求するかどうかを示します。

型: 文字列

有効な値 : password | no-password

必須 : いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AuthenticationMode

認証にパスワードが必要かどうかなど、ユーザーの認証プロパティを示します。出力レスポンスに使用されます。

内容

Passwords

認証に使用されるパスワード

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。

必須: いいえ

Type

ユーザーが認証にパスワードを要求するかどうかを示します。新しく作成したユーザーにはすべてパスワードが必要です。

型: 文字列

有効な値: password

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

AvailabilityZone

クラスターにマルチ AZ 設定 (multiaz) があるかないか (singleaz) を示します。

内容

Name

アベイラビリティゾーンの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Cluster

特定のクラスターのすべての属性が含まれます。

内容

ACLName

クラスターに関連付けられているアクセスコントロールリストの名前。

型: 文字列

長さの制限 : 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-*]

必須: いいえ

ARN

クラスターの Amazon リソースネーム (ARN) 。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

AutoMinorVersionUpgrade

true に設定すると、クラスターは、起動後にマイナーエンジンバージョンのアップグレードを自動的に受信します。

型: ブール値

必須 : いいえ

AvailabilityMode

クラスターにマルチ AZ 設定 (multiaz) があるかないか (singleaz) を示します。

型: 文字列

有効な値 : singleaz | multiaz

必須 : いいえ

ClusterEndpoint

クラスターの設定エンドポイント

タイプ: [Endpoint](#) オブジェクト

必須: いいえ

DataTiering

データの階層化を有効にします。データ階層化は、r6gd ノードタイプを使用するクラスターでのみサポートされます。r6gd ノードを使用する場合は、このパラメータを設定する必要があります。詳細については、[データ階層化](#)を参照してください。

型: 文字列

有効な値: true | false

必須: いいえ

Description

クラスターの説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EnginePatchVersion

クラスターで使用される Redis OSS エンジンパッチバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

クラスターで使用される Redis OSS エンジンのバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

KmsKeyId

クラスターの暗号化に使用されるKMSキーの ID

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaintenanceWindow

クラスターの週次メンテナンスを実行する時間範囲を指定します。これは、ddd:hh24:mi-ddd:hh24:mi (24H クロック UTC) の形式で範囲として指定されます。最短メンテナンス期間は 60 分です。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

ユーザーが指定するクラスター名。この識別子は、クラスターを識別する一意のキーです。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

クラスターのノードタイプ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NumberOfShards

クラスター内のシャードの数

タイプ: 整数

必須: いいえ

ParameterGroupName

クラスターによって使用されるパラメータグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupStatus

「アクティブ」または「適用中」などの、クラスターによって使用されるパラメータグループのステータス。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

PendingUpdates

現在適用されている設定のグループ。

タイプ: [ClusterPendingUpdates](#) オブジェクト

必須: いいえ

SecurityGroups

クラスターが使用するセキュリティグループのリスト

型: [SecurityGroupMembership](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

Shards

クラスターのメンバーであるシャードのリスト。

型: [Shard](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

SnapshotRetentionLimit

MemoryDB によって自動スナップショットが保持される日数。この日数を超えると、自動スナップショットは削除されます。例えば、`SnapshotRetentionLimit` を 5 に設定すると、今日作成されたスナップショットは 5 日間保持され、その後削除されます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

SnapshotWindow

MemoryDB UTCがシャードの毎日のスナップショットの作成を開始する毎日の時間範囲 ()。 (例: 5:00 ~ 9:00) このパラメータを指定しない場合、MemoryDB によって適切な時間範囲が自動的に選択されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnsTopicArn

SNS 通知トピックの Amazon リソースネーム (ARN)

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnsTopicStatus

通知を受信するには、SNSトピックがアクティブステータスである必要があります

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

クラスターのステータス。利用可能、更新中、作成中などがあります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

クラスターによって使用されるサブネットグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

TLSEnabled

転送時の暗号化が有効になっているかどうかを示すフラグ

型: ブール値

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用の](#)

ClusterConfiguration

クラスター設定オプションのリスト。

内容

Description

クラスター設定の説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

クラスターで使用される Redis OSS エンジンのバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MaintenanceWindow

クラスターに指定されているメンテナンスウィンドウ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

クラスターの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodeType

クラスターに使用されるノードタイプ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NumShards

クラスター内のシャードの数

タイプ: 整数

必須: いいえ

ParameterGroupName

クラスターによって使用されるパラメータグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Port

クラスターによって使用されるポート

タイプ: 整数

必須: いいえ

Shards

クラスターのシャードリスト

型: [ShardDetail](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

SnapshotRetentionLimit

クラスターによって設定されるスナップショットの保持期限

タイプ: 整数

必須: いいえ

SnapshotWindow

クラスターが設定するスナップショットウィンドウ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SubnetGroupName

クラスターによって使用されるサブネットグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

TopicArn

クラスターSNSの通知トピックの Amazon リソースネーム (ARN)

タイプ: 文字列

必須: いいえ

VpcId

クラスターVPCの ID が に属している

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかがAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用の](#)

ClusterPendingUpdates

クラスターに適用されている更新のリスト

内容

ACLs

更新中のクラスターに関連付けられている ACL のリスト

タイプ : [ACLsUpdateStatus](#) オブジェクト

必須: いいえ

Resharding

オンラインリシャーディングオペレーションのステータス。

タイプ : [ReshardingStatus](#) オブジェクト

必須: いいえ

ServiceUpdates

クラスターに適用されているサービス更新のリスト

型: [PendingModifiedServiceUpdate](#) オブジェクトの配列

必須 : いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Endpoint

クライアントプログラムがクラスターとそのノードに接続するために必要な情報を表します。

内容

Address

ノードの DNS ホスト名。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Port

エンジンがリッスンしているポート番号。

タイプ: 整数

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

EngineVersionInfo

Redis OSS エンジンバージョンの詳細を提供します。

内容

EnginePatchVersion

パッチが適用されたエンジンバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

EngineVersion

エンジンバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterGroupFamily

エンジンのデフォルトパラメータが適用されるパラメータグループファミリーの名前を指定します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の のいずれかAPIでこれを使用する方法の詳細については AWS SDKs、以下を参照してください。

- [AWS SDK C++ 用](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK Ruby V3 用の](#)

Event

システム内で何か興味深いことが 1 回のみ発生したことを表します。イベントの例として、クラスターの作成、ノードの追加や削除などがあります。

内容

Date

イベントが発生した日時。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

Message

イベントのテキスト。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SourceName

イベントのソース名。例えば、イベントがクラスターレベルで発生した場合、識別子はクラスター名になります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SourceType

このイベントの発生元 (クラスター、パラメータグループ、セキュリティグループなど) を指定します。

型: 文字列

有効な値 : node | parameter-group | subnet-group | cluster | user | acl

必須 : いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Filter

フィルタリングされているプロパティに基づいて検索結果を効率化するために使用されます。

内容

Name

フィルタリングされるプロパティ。例えば、`UserName`などです。

型: 文字列

Pattern: `.*\S.*`

必須: はい

Values

フィルタリングするプロパティ値。例えば、「ユーザー123」などです。

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。

Pattern: `.*\S.*`

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Node

クラスター内の個々のノードを表します。各ノードはそれぞれ、自身のクラスターのプロトコルに準拠したキャッシングソフトウェアのインスタンスを実行します。

内容

AvailabilityZone

ノードが存在するアベイラビリティゾーン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

CreateTime

ノードが作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

Endpoint

このノードに接続するためのホスト名。

タイプ: [Endpoint](#) オブジェクト

必須: いいえ

Name

ノード識別子。ノード名は数値識別子 (0001、0002 など) です。クラスター名、シャード名、ノード名の組み合わせにより、お客様の Amazon アカウントで使用されるすべてのノードが一意に識別されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

ノード上のサービス更新のステータス

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Parameter

MemoryDB の動作のいくつかの側面を制御する個別の設定について説明します。

内容

AllowedValues

パラメータの有効な値の範囲。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

DataType

Parameter のデータ型

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Description

パラメータの説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

MinimumEngineVersion

パラメータを適用できる最も古いエンジンバージョン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

パラメータの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Value

パラメータの値

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ParameterGroup

CreateParameterGroup オペレーションの出力を表します。パラメータグループは、起動時にエンジンソフトウェアに渡されるパラメータの特定の値の組み合わせを表しています。

内容

ARN

親グループの Amazon リソースネーム (ARN)

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Description

パラメータグループの説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Family

このパラメータグループと互換性があるパラメータグループファミリーの名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

パラメータグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ParameterNameValue

パラメータの値を更新するために使用される名前と値のペアについて説明します。

内容

ParameterName

パラメータの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ParameterValue

パラメータの値

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

PendingModifiedServiceUpdate

対応する適用/停止リクエストに対してまだ処理されていない更新アクション

内容

ServiceUpdateName

サービス更新の一意の ID

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

サービス更新のステータス

型: 文字列

有効な値: available | in-progress | complete | scheduled

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

RecurringCharge

このリザーブドノードを実行するための定期的課金。

内容

RecurringChargeAmount

このリザーブドノードを実行するための定期的課金額。

型: 倍精度浮動小数点数

必須: いいえ

RecurringChargeFrequency

このリザーブドノードを実行するために課金される定額料金の頻度。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ReplicaConfigurationRequest

シャードのレプリカの数を設定するリクエスト

内容

ReplicaCount

スケールアップまたはスケールダウンするレプリカの数

タイプ: 整数

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ReservedNode

PurchaseReservedNodesOffering オペレーションの出力を表します。

内容

ARN

リザーブドノードの Amazon リソースネーム (ARN)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Duration

予約の継続時間 (秒単位)。

タイプ: 整数

必須: いいえ

FixedPrice

このリザーブドノードに課金される固定料金。

型: 倍精度浮動小数点数

必須: いいえ

NodeCount

リザーブされているノードの数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

NodeType

リザーブドノードのノードタイプ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

OfferingType

このリザーブドノードの提供タイプ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

RecurringCharges

このリザーブドノードを実行するために課金される定額料金。

型: [RecurringCharge](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

ReservationId

この予約を追跡するユーザー指定の一意識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReservedNodesOfferingId

購入するリザーブドノードサービスの ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

StartTime

予約が開始された時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

State

リザーブドノードの状態。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ReservedNodesOffering

このノードの提供タイプ。

内容

Duration

予約の継続時間 (秒単位)。

タイプ: 整数

必須: いいえ

FixedPrice

このリザーブドノードに課金される固定料金。

型: 倍精度浮動小数点数

必須: いいえ

NodeType

リザーブドノードのノードタイプ。詳細については、[「サポートされているノードの種類」](#)を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

OfferingType

このリザーブドノードの提供タイプ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

RecurringCharges

このリザーブドノードを実行するために課金される定額料金。

型: [RecurringCharge](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

ReservedNodesOfferingId

提供識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ReshardingStatus

オンラインリシャードイングのステータス

内容

SlotMigration

オンラインリシャードイングスロット移行のステータス

タイプ : [SlotMigration](#) オブジェクト

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

SecurityGroupMembership

単一のセキュリティグループとそのステータスを表します。

内容

SecurityGroupId

セキュリティグループの識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

セキュリティグループメンバーシップのステータス。セキュリティグループが変更されたり、クラスターに割り当てられたセキュリティグループが変更されたりすると、ステータスが異なります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ServiceUpdate

MemoryDB クラスターに適用できる更新です。

内容

AutoUpdateStartDate

サービス更新が自動的に適用される日付

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

ClusterName

サービス更新が適用されるクラスター名

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Description

サービス更新の詳細を提供する

タイプ: 文字列

必須: いいえ

NodesUpdated

サービス更新によって更新されるノードのリスト

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ReleaseDate

サービス更新が最初に利用可能になった日付

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

ServiceUpdateName

サービス更新の一意の ID

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

サービス更新のステータス

型: 文字列

有効な値 : available | in-progress | complete | scheduled

必須 : いいえ

Type

サービス更新の性質を反映します

型: 文字列

有効な値 : security-update

必須 : いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ServiceUpdateRequest

サービス更新を適用するためのリクエスト

内容

ServiceUpdateNameToApply

サービス更新の一意の ID

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Shard

クラスター内のノードのコレクションを表します。ノードグループのノードの1つは読み書き可能プライマリノードです。他のすべてのノードは読み取り専用レプリカノードです。

内容

Name

シャードの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Nodes

シャード内の個々のノードに関する情報を含むリスト

型: [Node](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

NumberOfNodes

シャード内のノード数

タイプ: 整数

必須: いいえ

Slots

このシャードのキースペース。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

このレプリケーショングループの現在のステータス (作成、使用可能、変更、削除)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ShardConfiguration

シャード設定オプション。各シャード設定には、スロットと `ReplicaCount` があります。

内容

ReplicaCount

このシャードのリードレプリカノードの数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

Slots

特定のノードグループのキースペースを指定する文字列。キースペースの範囲は 0 ~ 16,383 です。この文字列は `startkey-endkey` の形式になります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ShardConfigurationRequest

クラスターのシャーディングプロパティを設定するリクエスト

内容

ShardCount

クラスター内のシャードの数

タイプ: 整数

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

ShardDetail

スナップショット内のシャードの詳細を提供します

内容

Configuration

シャードの設定の詳細

タイプ: [ShardConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

Name

シャードの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Size

シャードのスナップショットのサイズ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

SnapshotCreationTime

シャードのスナップショットが作成された日時

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

SlotMigration

オンラインリシャードインゴペレーションの進行状況を表します。

内容

ProgressPercentage

スロットの移行が完了した割合。

型: 倍精度浮動小数点数

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Snapshot

スナップショットが作成された時点のクラスター全体のコピーを表します。

内容

ARN

スナップショットの ARN (Amazon リソースネーム)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ClusterConfiguration

スナップショットが作成されたクラスターの設定

タイプ: [ClusterConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

DataTiering

データの階層化を有効にします。データ階層化は、r6gd ノードタイプを使用するクラスターでのみサポートされます。r6gd ノードを使用する場合は、このパラメータを設定する必要があります。詳細については、[データ階層化](#)を参照してください。

型: 文字列

有効な値: true | false

必須: いいえ

KmsKeyId

スナップショットの暗号化に使用される KMS キーの ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

スナップショットの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Source

スナップショットが自動バックアップ (自動) からのものか、手動で作成されたもの (手動) かを示します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

スナップショットのステータス。有効な値: 作成 | 使用可能 | 復元 | コピー | 削除。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Subnet

クラスターに関連付けられたサブネットを表します。このパラメータは、Amazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC) で定義され、MemoryDB で使用されるサブネットを指します。

内容

AvailabilityZone

サブネットが存在するアベイラビリティゾーン

タイプ: [AvailabilityZone](#) オブジェクト

必須: いいえ

Identifier

サブネットの一意の識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

SubnetGroup

次のいずれかのオペレーションの出力を表します。

- CreateSubnetGroup
- UpdateSubnetGroup

サブネットグループは、Amazon Virtual Private Cloud (VPC) 環境で実行しているクラスターに対して指定できるサブネット (通常はプライベート) の集合です。

内容

ARN

サブネットグループの ARN (Amazon リソースネーム)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Description

サブネットグループの説明

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

サブネットグループの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Subnets

サブネットグループに関連付けられるサブネットのリスト。

型: [Subnet](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

VpcId

サブネットグループの Amazon Virtual Private Cloud 識別子 (VPC ID)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

Tag

MemoryDB リソースに追加できるタグ。タグは、キーと値のペアで構成されています。タグを使用してすべての MemoryDB リソースを分類および追跡できます。クラスターでタグを追加または削除すると、それらのアクションはクラスター内のすべてのノードに複製されます。null 値のタグが許可されます。詳細については、「[Tagging your MemoryDB resources](#)」を参照してください。

内容

Key

タグのキー。null であってはなりません。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Value

タグの値。null の可能性もあります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

UnprocessedCluster

更新に失敗したクラスター

内容

ClusterName

クラスターの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ErrorMessage

更新失敗に関連付けられたエラーメッセージ

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ErrorType

更新失敗に関連付けられたエラーの種類

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

User

ユーザーを作成し、アクセス文字列を使用して特定のアクセス許可を割り当てます。特定のロール (管理者、人事) と連携したアクセスコントロールリストにユーザーを割り当てます。その後、それらは 1 つ以上の MemoryDB クラスターにデプロイされます。

内容

AccessString

このユーザーに使用されるアクセス許可文字列。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

ACLNames

ユーザーが所属するアクセスコントロールリストの名前。

型: 文字列の配列

長さの制限: 最小長は 1 です。

Pattern: [a-zA-Z][a-zA-Z0-9\-\-]*

必須: いいえ

ARN

ユーザーの Amazon リソースネーム (ARN)。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Authentication

ユーザーが認証にパスワードを要求するかどうかを示します。

タイプ: [Authentication](#) オブジェクト

必須: いいえ

MinimumEngineVersion

ユーザーがサポートする最小のエンジンバージョン

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Name

ユーザーの名前

タイプ: 文字列

必須: いいえ

Status

ユーザーステータスを示します。「アクティブ」、「変更中」、または「削除中」になります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

その他の参照資料

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

共通パラメータ

次のリストには、すべてのアクションが署名バージョン 4 リクエストにクエリ文字列で署名するために使用するパラメータを示します。アクション固有のパラメータは、アクションのトピックに示されています。Signature Version 4 の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS API リクエストの署名](#)」を参照してください。

Action

実行するアクション。

型: 文字列

必須: はい

Version

リクエストが想定している API バージョンである、YYYY-MM-DD 形式で表示されます。

型: 文字列

必須: はい

X-Amz-Algorithm

リクエストの署名を作成するのに使用したハッシュアルゴリズム。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

有効な値: AWS4-HMAC-SHA256

必須: 条件による

X-Amz-Credential

認証情報スコープの値で、アクセスキー、日付、対象とするリージョン、リクエストしているサービス、および終了文字列 ("aws4_request") を含む文字列です。値は次の形式で表現されます。[access_key/YYYYYYYYMMDD/リージョン/サービス/aws4_request]

詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[署名付き AWS API リクエストの作成](#)」を参照してください。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Date

署名を作成するときに使用する日付です。形式は ISO 8601 基本形式の YYYYMMDD'T'HHMMSS'Z' でなければなりません。例えば、日付 20120325T120000Z は、有効な X-Amz-Date の値です。

条件: X-Amz-Date はすべてのリクエストに対してオプションです。署名リクエストで使用する日付よりも優先される日付として使用できます。ISO 8601 ベーシック形式で日付ヘッダーが指定されている場合、X-Amz-Date は必要ありません。X-Amz-Date を使用すると、常に Date ヘッダーの値よりも優先されます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS API リクエスト署名の要素](#)」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Security-Token

AWS Security Token Service (AWS STS) への呼び出しで取得された一時的なセキュリティトークン。AWS STS の一時的なセキュリティ認証情報をサポートするサービスのリストについては、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM と連携するAWS サービス](#)」を参照してください。

条件: AWS STS の一時的なセキュリティ認証情報を使用する場合、セキュリティトークンを含める必要があります。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-Signature

署名する文字列と派生署名キーから計算された 16 進符号化署名を指定します。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

X-Amz-SignedHeaders

正規リクエストの一部として含まれていたすべての HTTP ヘッダーを指定します。署名付きヘッダーの指定に関する詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[署名付き AWS API リクエストの作成](#)」を参照してください。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

共通エラー

このセクションでは、AWS のすべてのサービスの API アクションに共通のエラーを一覧表示しています。このサービスの API アクションに固有のエラーについては、その API アクションのトピックを参照してください。

AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 400

IncompleteSignature

リクエストの署名が AWS 基準に適合しません。

HTTP ステータスコード: 400

InternalFailure

リクエストの処理が、不明なエラー、例外、または障害により実行できませんでした。

HTTP ステータスコード: 500

InvalidAction

リクエストされたアクション、またはオペレーションは無効です。アクションが正しく入力されていることを確認します。

HTTP ステータスコード: 400

InvalidClientTokenId

指定された x.509 証明書、または AWS アクセスキー ID が見つかりません。

HTTP ステータスコード: 403

NotAuthorized

このアクションを実行するにはアクセス許可が必要です。

HTTP ステータスコード: 400

OptInRequired

サービスを利用するためには、AWS アクセスキー ID を取得する必要があります。

HTTP ステータスコード: 403

RequestExpired

リクエストの日付スタンプの 15 分以上後またはリクエストの有効期限 (署名付き URL の場合など) の 15 分以上後に、リクエストが到着しました。または、リクエストの日付スタンプが現在より 15 分以上先です。

HTTP ステータスコード: 400

ServiceUnavailable

リクエストは、サーバーの一時的障害のために実行に失敗しました。

HTTP ステータスコード: 503

ThrottlingException

リクエストは、制限が必要なために実行が拒否されました。

HTTP ステータスコード: 400

ValidationError

入力が、AWS サービスで指定された制約を満たしていません。

HTTP ステータスコード: 400

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。